

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

立命館大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

国際PBLによるイノベータ育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

立命館大学とASEAN諸国の学生がPBL学習として、日々新たに生起する政策課題・社会問題を共同で解決策を考えるという取組みを通じて、思考ミックス(技術思考、ビジネス思考、制度デザイン思考)の能力を備えた学生を養成する。

【構想の概要】

立命館大学およびプログラムに参加する各大学が、オフキャンパス・リサーチを含む演習型授業、オンデマンド講義(Video on Demand)、サテライト講義(TV会議)の形式で、課題領域に沿った講義を提供する取組みである。

■ 交流プログラムの質の保証

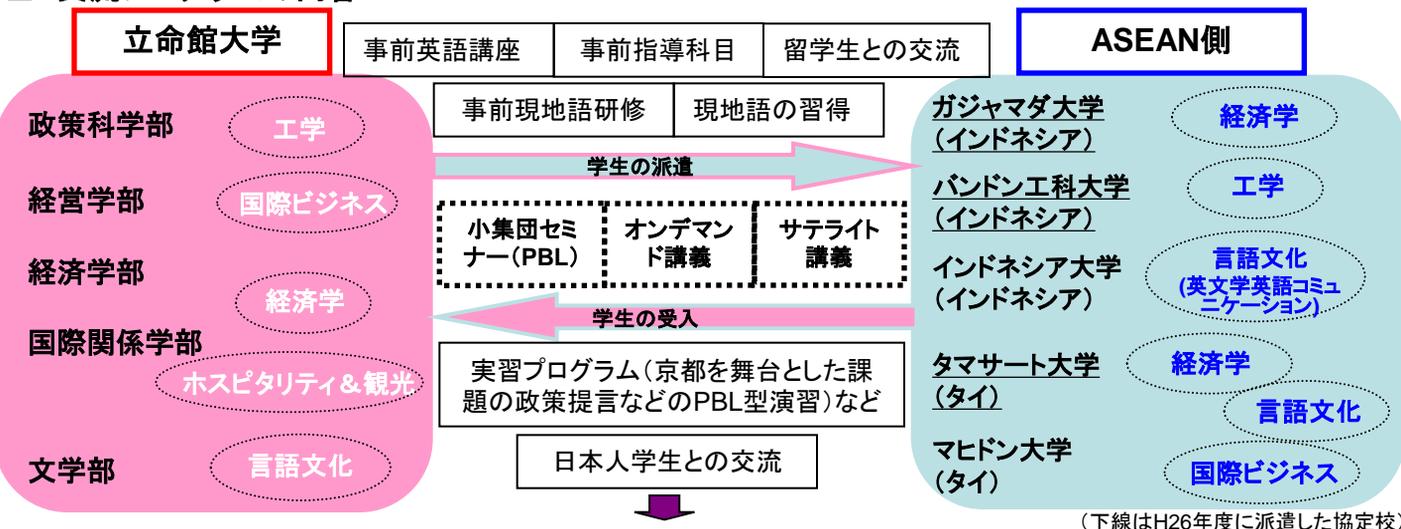
・評価シート(EXCHANGE PROGRAM EVALUATION REPORT)の導入

評価シートを導入し、受入および派遣における単位互換、教育の質、教員のサポート、現地コーディネータの役割等について、双方が評価し、プログラムの質の向上を目指す。

・質保証のためのガイドライン策定

「学部教学改革ガイドライン」を策定し、英語開講科目の受講教室環境、年間登録上限単位の引き下げ、科目の精選、シラバス事前点検による透明性の確保を担保している。

■ 交流プログラムの内容



日本・ASEAN諸国関係の理解の深化、調査スキル、問題解決力の向上

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H26までは実績、H27以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	12	8	0	0	0	-	16	15	-	-	-	-	19	17	-	-	-	-	19	17	-	-	-	
学生の受入	0						5						26						31						36					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

H26年度については受入0名の予定であったが、タマサート大学より早期実施の強い要望があり、計画を前倒してタマサート大学生5名の受入を実施

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

【受入・派遣共通】

- 英語およびタイ語やインドネシア語に堪能なAIMSプログラム担当教員を3名任用し、プログラム開発や学生支援を担当
- タイおよびインドネシアに現地コーディネータを配置し、日本への留学支援および派遣先国内での学習・生活を支援
- 受入学生と派遣学生とのオープントークセッションおよび交流会を実施
- 日本語、英語、タイ語、インドネシア語でWEBサイトを公開し、本プログラムの理解を促進

【受入】

- 受入学生用に借上げ宿舎を確保
- 受講科目の一部のオンデマンド化をはかり、事前学習科目のVOD化のトライアルを実施

【派遣】

- 事前指導科目8科目を開講
- 英語運用能力向上を目指すために、言語習得センター講座の受講を支援
- 留学中に現地で面談を実施し、学習や生活状況を把握



PBL演習の例